

ガバナー 月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2024-2025 Rotary International District 2630

5

2025/May.
Vol.11



田植え

Contents

青少年奉仕月間	2
ガバナー補佐 1年を振り返って	3
地区委員長 1年を振り返って	5
活動事業報告	9
第2630地区 会員数報告	11
第2630地区 会員動静報告	12

Rotary 
D2630



青少年奉仕月間



2024-2025年度
国際ロータリー第2630地区ガバナー

亀井 喜久雄 (名張RC)

「今そこにある危機」

ロータリーにおける青少年のための活動は、1920年5月、ニューヨークRCが地元団体と協力して行ったBoys' weekが最初で、地元の青少年がよき市民となるよう、少年非行・不登校・不健康を防ぐ活動として始まりました。この少年週間の行事は1928年には3000地域で開催されるまで拡がりました。それから82年後、新世代奉仕が5番目の奉仕部門となりました。

現在、国際ロータリーは1) インターアクトクラブ2) RYLA3) 青少年交換4) ローターアクトクラブを推奨し、2630地区においても活発に活動しております。また、日本独自の外国人留学生支援制度「米山記念奨学会」は2024年度実績で926人を数え、民間の外国人留学生支援団体としては国内最大規模を誇ります。

このようにロータリークラブは青少年への支援を長きにわたって行ってきました。それは各地でロータリーの存在価値を高めることにつながり、今後も継続していくべきものと考えます。

さて、今現在の日本における青少年の問題点は何なのでしょう？それは、まず第一に貧困化の問題です。2021年の日本の17歳以下の子どもの貧困率は11.5%で、8.7人に1人が貧困状態にあります。近年、低下傾向にありますが、この豊かな日本社会に今なお多くの困窮児童が存在します。ロータリーはこの社会問題に関与すべきと考えます。

「こども食堂」は2016年末の319箇所から始まり、2024年12月現在、10,866箇所を数え、8年で34倍に増えました。「カタリバ」「放課後学童保育」等も家庭環境が行き届かない子どもたちを受け入れ、学習支援や、時には食事を取ることも行われています。このような社会の善意とも言えるこれら団体への何らかの支援をロータリーは考えてみてはどうでしょうか？子供のみならず、社会への大きな貢献となるでしょう。

2つ目の問題点は新世代奉仕の対象となる青少年が異常な勢いで少なくなっていることです。これは日本の人口減少にもつながることですが、事は深刻です。このままの趨勢でいきますと、2050年には9,500万人、2100年には中位推計でも4771万人、驚きの数字です。この人口減少を押しとどめることはできずとも、それを緩やかにする努力は必要と考えます。

ロータリーにできることは限られますが、今の青少年に将来に対する希望を育てる機会をつくってはでしょうか。津ロータリークラブが行われておられる高校生との「ディスカッション」は特筆に値します。子供達の将来が可能性と希望あるものであることを伝え、努力を促すことは大人の義務と考えます。日本の子供の自己肯定感は諸外国と比較して低いという調査結果が複数出ていますが、それは大人の責任と考えます。未来に希望がない世代が次の日本を担えるはずはありません。今さらながら、強い危機感を感じます。皆さんはどうお考えでしょうか？



ガバナー補佐 1年を振り返って



**岐阜Aグループ ガバナー補佐
桐山 直泰(岐阜西RC)**

昭和61年入会、ロータリー歴39年目です。最後のご奉行と思い、AGを引き受けました。

予定者の頃より地区の会議に出席、年度に入ってもたびたび会議がありましたが、ほぼ皆出席しました。年度に入りグループ内5クラブ訪問を3回、周年事業参加は3クラブ、名張の地区大会は2泊3日で参加しました。

IMは岐阜県内で5回出席し、おいしい食事や楽しい企画を味わい責務を勤めました。

亀井ガバナー、的場地区代表幹事は大重圧の中、私は気楽に出席を重ねました。

この役職を推挙していただいた岐阜西ロータリークラブに感謝申し上げ、皆様への報告と致します。



**岐阜西濃グループ ガバナー補佐
早野 泰弘(大垣西RC)**

1年間、ガバナー補佐を務めさせていただきました。9クラブを訪問して、それぞれの運営状態に大きな違いがあることに気づかされました。限られた会員数にも関わらず、地域に根差し、ひたむきにロータリー活動を行っておられる姿に感銘を受けました。また、IM、ガバナー公式訪問9RC合同例会では、各クラブの会長、幹事、会員の皆様のご協力で盛大に行われたこと大きな思い出となっております。

地区大会や各種研修会では大変勉強させていただきました。私も下期のガバナー補佐訪問におきましては、学びの共有という形でお話をさせていただきました。ロータリーを深く体験して学ぶ貴重な1年でした。ご指導いただきました亀井ガバナー、パストガバナーの皆様には心より感謝申し上げます。



**東海北陸道グループ ガバナー補佐
小林 幹男(各務原RC)**

月日が流れるのも早いもので、残すところ僅かとなりました。一年を振り返りますと、地区のセミナーから始まり、グループ内の各クラブ訪問、IMと毎日ロータリーdayだった様に思います。コロナで活動縮小を余儀なくされていた数年間を取り戻す勢いで、各行事が行われそしてグループ外のクラブにもお邪魔させていただく機会があり、大変勉強になりました。IMでは会員全員で協力をし、無事終える事が出来たことに喜びを感じると共に、ご参加頂きましたロータリークラブの皆様、ご臨席賜りました皆様方に改めて感謝申し上げます。ガバナー補佐として、多くの時間を制限され忙しい日々でしたが、やはりロータリーは、人と人との交流が一番である事を改めて認識した一年でした。クラブ訪問では、毎回クラブ会員の皆様に心温かくお迎え頂き、そして各クラブの例会は大変勉強

になりました。多くのクラブが青少年奉仕活動を行っている面からして、ロータリアンはあらゆる場面で模範を示す機会があるかと思います。他の人の行いを見て奉仕する事を学び大人になっていきます。そして先の世代まで承継されてくれる事を願い、これからもロータリーの活動に精進したいと思います。一年間有難う御座いました。



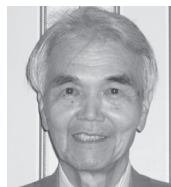
**岐阜Bグループ ガバナー補佐
松波 和寿(岐阜南RC)**

岐阜Bグループ6クラブに対して、ガバナーの補佐として期首訪問、中間訪問を行い、この後まだ期末訪問がありますが、なんといってもIMですね。所属クラブの岐阜南ロータリークラブの総力を上げて開催することができたことは、一年を通じていちばんのイベントでした。ロータリーの友情を深く感じました。Bグループとしては会員増強を言い続けましたが残念ながら不十分でした。新会員はそれなりに入るものの同程度の方が退会してしまいます。各クラブ真剣に増強に取り組んでくれましたが次期に持ち越しになりそうです。



**岐阜東濃グループ ガバナー補佐
小木曾 順務(土岐RC)**

亀井喜久雄ガバナー指導の下、東濃グループ8クラブの会長・幹事の方々にご協力を頂き、無事、ガバナー補佐を務めることができ、東濃グループ会員各位にお礼を申し上げます。顧みればロータリークラブに30年参加していますが、他クラブの会員増強を目指す実態(親子で参加)や社会奉仕活動に取り組む数々内容などなど、また拝聴でき感謝しています。我が土岐クラブに合っては、今後の社会奉仕活動の一案として、地元土岐市の陶磁器文化を映す「かるた」を作成、土岐市内全小学校の子どもたちに参加頂き、ご父兄の方々に「ロータークラブ」の存在価値と少しでも知らしめることができたと思います。各位に感謝。



**濃飛グループ ガバナー補佐
岡田 賛三(高山西RC)**

AGを拝命し何をすべきかも理解しないまま日々が過ぎてしまいました。ガバナーはじめ地区委員の方々そしてAGの皆さんには圧倒されました。皆さん素晴らしい方ばかりでそんな方々と面識いただけたことは幸運な事でした。

各クラブ訪問もとても楽しいものでした、それぞれのクラブは個性豊かで立派に運営されていました。学ぶところもたくさんありました。また全面的にサポートして頂いたわがクラブの友情にも感謝しております。クラブ訪問に際してアッシーをしてくれたメンバーとの道中会話も楽しものでした。

本当に至らぬAGであったことを心からお詫びいたします。ありがとうございました。



ガバナー補佐 1年を振り返って



**桑員グループ ガバナー補佐
寺本 豊(桑名北RC)**

ガバナー補佐としての1年間はRCの奉仕の精神を改めて学ぶ良い機会でもありました。地区の皆様、各クラブの皆様との交流を通して社会への貢献活動への熱意を改めて感じることもできました。

そして何より桑員グループIMIには財団の奨学生として活躍する2名、インターアクトクラブの部員の皆様を迎えての、まさにロータリーらしい会合にすることができました。メンバーの皆さんには感謝の言葉しかありません。

この1年間の経験を活かし、今後もロータリー活動に積極的に貢献してまいります。

1年間ありがとうございました。



**鈴鹿・亀山グループ ガバナー補佐
櫛田 浩哉(鈴鹿シティRC)**

この一年間、鈴鹿・亀山グループガバナー補佐という重責を担わせていただき、不安ばかりのスタートでしたが、地区事業経験の少ない私に対し、亀井ガバナーをはじめ地区役員皆様の温かいご指導、ご支援のもと、無事一年間を終えることが出来、感謝の気持ち一杯であります。

グループ内各クラブへのAG訪問では、亀井ガバナーの地区活動方針および目標を伝達し、達成すべくお願いに5クラブにお邪魔しましたが、各クラブ会員の皆様には、心暖かくお迎えいただき、私の拙い卓話に熱心に耳を傾けて頂いたこと深く感謝いたします。また、各クラブの特色を生かされた例会は大変勉強になりました。

9月のIMIに際しては、グループ内の多数の会員の皆様に出席頂き、無事開催することが出来ました。3月末地元桜まつりにおけるロータリーデーにおいては、クラブ内会員及び、衛星クラブ、インターアクトクラブの多数の参加協力によりポリオ撲滅に一般の方々から多額の募金を頂くと共に撲滅活動に対するご理解を広めることができました。

最後にこの一年間、ロータリーの精神を広める活動ができたこと、そして20数年間の私のロータリーライフの中でも数々の大変貴重な経験をさせていただけたことに心より感謝申し上げます。これからもロータリーの一層の発展のため皆様と共に歩んでいけることを願い、お礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。



**松阪・東紀州グループ ガバナー補佐
鈴木 康(松阪山桜RC)**

各クラブを訪問し多くの会員様とお話が出来ました。環境、理念、活動への取り組みなどクラブ、会長、個々の会員の考えが同じ方向を向いて無い事も知りました。しかし個々の会員が与えられたRI、地区の活動方針を理解し、それぞれ

の事業に献身的に取り組まれている姿に感銘も受けました。特に会員数の少ないクラブのロータリアンとしての自覚は素晴らしく、運営方法、地に足のついた活動に全員で真摯に取り組む原動力は会員の信頼で有る事も知りました。この素敵な一年を与えて下さった亀井ガバナー、関係各位に感謝申し上げます。



**四日市グループ ガバナー補佐
矢野 正剛(四日市RC)**

四日市グループの例会訪問では会長幹事並びに会員の皆様には大変お世話になりました。訪問させていただいた各クラブは雰囲気や例会の進め方には多様性を感じる有意義なものでした。「地域にインパクトを」の事業を掲げ実行され、又ポリオ根絶につきましても広報活動を通じ寄付を集めることに尽力されているクラブもありました。IMでは米山記念奨学会館長にご講演をいただき改めて米山梅吉翁の理想を会員全員で共感することができ1年間有意義なロータリーの時間を過ごさせていただいたこと皆様に感謝申し上げます。



**中勢・伊賀グループ ガバナー補佐
空森 栄幸(上野RC)**

この1年を振り返りますと、7月よりガバナー補佐として活動を開始し、就任早々から8クラブを回らせていただき、亀井ガバナーの思いを皆さんに伝えさせていただきました。この活動を通して各クラブのすばらしい個性や特徴を実感させていただくことが出来ました。そして、クラブの各メンバーのご協力により、自身でも大変有意義なすばらしいインターシティミーティングが出来たと思っております。12月は体調不良で入院したため、各クラブ訪問が叶いませんでしたが、6月までもう少しクラブ訪問の機会がありますので、体調を万全にして出席したいと思います。



**伊勢・鳥羽・志摩グループ ガバナー補佐
塩本 智幸(志摩RC)**

初回のAG訪問では各クラブの特徴を把握できる良い機会となり、第3回のAG訪問においては、気を緩めることのなきようにと亀井ガバナーにメッセージをお願いし、原稿を代読させて頂きました。

ガバナー公式訪問やIMの開催も実りあるものとなり、とても充実した年度を実感しておりますが、他グループAGさんとの意見交換や多くの勉強をさせて頂く機会が得られたことで、各クラブさんへのアドバイスに生かすことが出来ました。有難うございました。

この1年を振り返り、いつも優しく受け止めてくださった亀井ガバナーはじめ地区役員の皆様、ガバナー事務所の皆様、そして伊勢・鳥羽・志摩グループの会長幹事はじめ会員の皆様に心より感謝を申し上げます。



地区委員長 1年を振り返って



D・E・I推進小委員会
野原 佳子(岐阜淡墨RC)

「D・E・I」はこうしなければというルールや方程式などはありません。理想は会員の誰もが受け入れられている、認められている、居場所があると感じ、自分らしく参加できるクラブ、多様な他者を認め、大切にす、誰もが輝けるクラブ。会員の満足度が高まることでクラブ運営も活発になり公共イメージも高まると考えます。

10/14(月・祝)、都ホテル岐阜長良川にて「D・E・I推進セミナー」を開催させて頂きました。アンドラ・グロス氏をお迎えして外側から見た日本、角度を変えた多様な考え方を知ることが出来ました。

一年間ご理解とご協力頂きまして感謝しております。ありがとうございました。



職業奉仕委員会
菅内 章夫(久居RC)

前年度から、職業奉仕月間の卓話をクラブの職業奉仕委員長にお願いをしました。クラブ内の職業奉仕への理解がより一層深まったように思います。

また、職業奉仕委員会研修セミナーでは、ラーニング形式を導入して、昨年11月に開催しました。亀井ガバナーの「職業奉仕について」の講演、3つのテーマを11テーブルで、意見交換をしていただき、テーブルごとにまとめの発表していただきました。受講者のセミナー全体の満足度は92.4%でした。改善点としては、内容が難しかった、時間不足、などがありました。

委員会内では、引き続き、LINE WORKSを導入して、委員同士の資料の共有、日程調整に活用して、親交を深めました。



公共イメージ委員会
近藤 浩史(岐阜東南RC)

委員長になって4年目の1年間、予定通りの活動ができました。特に委員会の開催は毎月行うことができました。

その中で、3回の委員会は、所属する委員の地元にてリアル開催しました。

9月には八木委員の伊勢市、12月には森田副委員長と宮川委員の多治見市、そして3月は伊藤委員の津市にて開催しました。

それぞれの都市で、担当委員の推薦の会場で開催することができ、特色のある委員会となりました。

そして、他の月はZOOMで開催し、クラブ取材訪問や管理するホームページの打ち合わせができ、委員長を務めた4年間では一番充実した年になりました。



奉仕プロジェクト部門・青少年奉仕委員会
勝川 生年(美濃加茂RC)

この1年は、引き継ぎを進める年でもあり新たな委員会を引き受けた始まりの年でもありました、アシスタントガバナーの役を終え間もなく国際奉仕委員会に委嘱を頂き始めたばかりのグローバル補助金プロジェクトに携わり微力ではありましたが一役を担えたと感じています。青少年奉仕委員会を任された時は焦りもありました、しかし社会奉仕、国際奉仕両委員会に迎え入れたことの相乗効果に驚きと変化に期待が高まります。

地区に招かれ期待に添えるための努力と学びは貴重な9年間でした。ロータリーの友情に深く感謝とお礼を申し上げます、満足感と少しの寂しさはあります、奉仕プロジェクト部門委員長・青少年奉仕委員長を退任させていただきます。



研修・学習委員会
岩田 勝美(羽島RC)

この委員会が本格的に活動を開始したのは2022～2023高橋ガバナー年度でした。第一回は近江の商家の習わしを題材にした「てんびんの詩」のビデオに意見を求め、そのやり取りを皆さんで共有する“参加型”を企画しました。小生不運にも前日にコロナ感染で欠席し大騒動でした。研修だけでなく「学習」も視野にとRIからの指示があり名称も変わりました。皆がロータリーを知り、語れる事こそがロータリーの発展です。

委員長の3年間が終わりますが、一番「研修」が必要なのは自分自身だと反省する毎日です。有難うございました。



国際奉仕委員会
太田 正隆(松阪山桜RC)

今年度につきましても、以前より交流が有り、相手地区として信頼出来、実績など調査済みである、タイ王国D3330地区からの依頼事項を終了しました。

D3330からは、名張市における当地区大会にも、2名のパストガバナーを含む、クラブ員に出席して頂き、事業推進の発端となった、新クラブの誕生を祝い、その会員の家族が急性心臓疾患で死亡され、対外蘇生機器が十分に備えられ、しかも、病院内だけでなく、発作の現場で、周囲の人が救急蘇生法を知って居れば、命を取り留める事が出来たかもしれないという、悲痛な会員の希望を叶えるという計画が完了されました。

今回のタイ3330地区大会 訪問においても絶大な、感謝の気持ちで迎えられました。



地区委員長 1年を振り返って



青少年交換委員会
河人 宗寿(多治見リバーサイドRC)

24-25年度は、3名の学生を派遣。2名の受入学生、4名の派遣候補学生でスタートをしました。2名の受入学生は、日本でのホスト生活を満喫し、思い出を一杯にして1月に帰国しました。また、その入れ替わりに新しい受入学生を2名迎え入れ、6名の学生とともに委員会活動をしています。

このように学生との付き合いは一年ですが、ホストクラブ・スポンサークラブの皆様には多大なご尽力を賜り、深く敬意をいたします。未来ある学生たちの夢の実現に向け、委員会一同でお手伝いをできたことに大変うれしく思います。ありがとうございました。



インターアクト委員会
今津 美恵(岐阜サンリバーRC)

インターアクト年次大会・3地区のグループ協議会・韓国第3600地区交換学生派遣事業の開催等に多大なるご協力を賜わり誠にありがとうございました。

委員長就任からの3年間、コロナ禍の最中でしたが「できることから始めよう」とスポンサーRCのご指導をいただき、高校生インターアクトクラブの活動が再開しました。

「やればできる」が実証されるなか、今年度も素晴らしい活動がなされました。今後もインターアクト育成にご支援・ご協力を賜われます様よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。



新クラブ推進小委員会
高井 文洋(美濃加茂RC)

新クラブ推進小委員会は、以前は衛星クラブ推進小委員会として発足し、今年度で二年になります。一年目(昨年度)は第2630地区全体が会員増強において強くなるために「みえぎふEテラスロータリークラブ」を創設しました。昨年末に横浜で行われましたロータリー研究会第二セッションにおいて紹介されました。また、ロータリーの友にも小さな記事ですが掲載されました。大変光栄なことで喜んでおります。

そして2年目の今季は、念願であったサテライトクラブ創設を、志摩ロータリークラブが提唱クラブとなり、「志摩ホープロータリー衛星クラブ」が出来ました。地区内では2番目の衛星クラブ誕生です。若い年代の会員が入会され親クラブ(提唱クラブ)との連携も行き届いており益々の発展が期待される衛星クラブです。

3年目になる来期は、画期的な衛星クラブ創設を目標に考えております。多くの方のご協力よろしくお願い申し上げます。次年度もよろしくお願い致します。



社会奉仕委員会
佐野 貴信(四日市西RC)

委員長を初めて拝命し、あっという間に一年が過ぎました。事業計画の立案から委員会運営に至るまで、全てが初めての経験であり、戸惑うこともございましたが、多くの学びを得て、ロータリーの魅力と意義を改めて認識いたしました。また、地区の諸行事への参加を通じ、所属クラブ以外のメンバーとの親交を深め、大いに刺激を受けるとともに、ロータリーへの情熱をより一層高めることができました。次年度も引き続き委員長を務めさせていただくこととなりましたので、これまでの経験を活かし、精一杯努めてまいります。



ローターアクト委員会
矢野 哲也(四日市RC)

今年度は、何もかも初めてのことで、右も左もわからない中での始動でした。アクトクラブ及びアクターの減少や地区の運営をよく知るアクターが辞めたことにより、運営は厳しい状況でした。そのため今年度は、第二エリア会議の開催と、年次大会の開催を目標に準備を進めてきました。第二エリア会議はOBのお力添えのおかげで無事に開催でき、感謝申し上げます。来年度は計画的な運営ができるよう促していきたい考えです。皆様のさらなるご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願い致します。



R平和フェロウシップ小委員会
道家 嗣典(岐阜加納RC)

「任期を終えるにあたり、当委員会をお支えいただいた会員の皆様の温かいご支援とご協力に改めて深く感謝申し上げます。

我々がロータリーの奨学金制度の理念を広めるために行った活動や、チャリティコンサートを始めとする財団学友会との連携の強化などの活動は、皆様からの熱意と協力があつたからこそ成し遂げられた成果だと思えます。

振り返りますと、改めてロータリーの果たすべき責任の大きさも感じた一年間でもありました。この経験は今後も活動に活かしていく所存であります。

重ね重ねではありますが、本当にありがとうございました。



資金管理小委員会
藤村 敏明(伊勢南RC)

資金管理小委員の藤村です。セミナーにてお願いしましたMOUの覚書は、2630地区の全クラブに提出頂きました。有難うございます。

2630地区のロータリーカード推進委員も拝命してお



地区委員長 1年を振り返って

り、3回のカード推進セミナーに参加、クラブカード取得は昨年3月末で74クラブ中27クラブのところ昨年12月末で34クラブに、個人のロータリーカードは全国で3.9%の取得率に対し2630地区は5.2%と他地区よりも高い値です。

引き続き次年度も、MOUの全クラブ提出と各カードの取得につきましてご支援ご協力をお願い申し上げます。



**資金推進小委員会
中垣内 良紀(津RC)**

資金推進小委員会では、亀井ガバナーの掲げられた地区活動方針の『ロータリー財団補助金の積極的活用と寄付への理解』を推進するため会長を対象としたPETS、クラブ財団委員長を対象とした地区研修協議会、財団研修セミナー、補助金管理セミナーの開催をとおしてロータリー財団へのご理解を深めていただくよう少しでもわかりやすい内容を検討し活動してまいりました。各クラブの皆様にはご協力いただき、心より感謝申し上げます。次年度も引き続きロータリー財団部門委員会活動へのご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。



**ロータリー財団部門委員会
加瀬 久照(津RC)**

日頃はロータリー財団活動に対し格別なご理解ご協力を賜り感謝いたします。「世界でよいことをしよう」という標語の基、国際ロータリーの使命とロータリー財団の使命である「人道奉仕」を旨とし、ロータリー財団へのご理解を頂く為に詳しく説明を行い委員会としての活動を精一杯させていただき「やさしいロータリー財団」を目指して邁進いたしました、皆様のご指導ご協力を頂き1年を終えることが出来ました。

次年度も本年度と変わらぬご支援をお願い申し上げお礼といたします、有難うございました。



**ポリオ・プラス小委員会
国安院 章良(四日市南RC)**

今年も、いろいろな場所・機会に募金活動をさせて頂きました。

会員のみなさまには、募金活動にご理解をいただき、誠にありがとうございました。

今年度、活動の目玉は、昨年10月20日に開催させて頂いた「ポリオ根絶ミーティング」です。

メイン講師に尾身茂公益財団法人結核予防会理事長をお迎えし、基調講演を頂き、その後のパネルディスカッションでは、パネラーに松本祐二元RIポリオ根絶コーディネーター、永田雄治チームポリオジャパンメンバーを加えて、故金正司当地区元ポリオプラス小委員長がコーディネーターを務め、大いに盛り上がりしました。

継続してきた様々な活動により、ポリオ根絶に対するみ

なさまの認識はかなり高められてきたと感じています。今後ご理解を賜りますようお願いいたします。



**補助金小委員会
河地 勝彦(多治見RC)**

1年間、補助金小委員会の委員長として、多くの貴重な経験を積むことができました。この役割を通じて、ロータリー活動を支える補助金制度の重要性を改めて感じるとともに、その運用に責任を持つ立場として、より多くクラブの方々に効率よく補助金を活用して頂く事を目指して取り組みました。

2回財団委員会でのセミナーをはじめ様々な機会を通じて今年度のみでなく次年度以降も皆様の活動が効果的に行う為の補助金の活用方法を周知できたのではないかと思います。

今後もより多くクラブの方々がこの地区補助金制度を活用しより効果的な活動を行って頂きたいと思っています。



**米山学友会小委員会
笠原 幸治(岐阜長良川IRC)**

2630地区学友会活動が復活して3年目となりました。今年の活動を総括すると学友会としてカスン会長をはじめとした正副会長の数年間の続投が決まり、組織が強固なものとなりました。2回の米山学友研修会を開催し、メンタルヘルスに効果がある座禅や、日本のふるさとである伊勢神宮参拝し2630地区の魅力を探求しました。カラオケで各国の流行歌を歌い、学友会メンバーと歌を通じた交流を図りました。国によって男女の恋愛観が大きく違っていることには驚きました。是非、奨学生とカラオケに行ってみてください。地区大会では多くの参加メンバーからこれまでにない米山奨学会の寄付を頂き感謝いたします。この募金活動は米山学友会の活動として続けていく予定です。ご協力よろしくお願い致します。



**米山記念奨学委員会
長谷川 隆志(岐阜東RC)**

亀井ガバナー年度も残り少なくなってきました。私は、委員長二年目として昨年の反省をしながら今期に臨みました。委員会メンバーの方々の御協力のもと事業活動は滞りなく行うことができました。3月の修了式(卒業式)4月の入学式も終わりました次期の玉野ガバナー年度に入ります。卒業生は学友会に入会して外から活動を行ってもらい、現役奨学生の良きアドバイザーとして後輩の指導に活躍していただきます。今後も米山奨学事業として、奨学生をロータリアンの一人として各お世話クラブにお受けいただきますようご協力の程、よろしくお願い致します。



地区委員長 1年を振り返って



会員増強委員会
亀井 和彦(可児RC)

会員増強委員長としての二年目が終わります。委員長として未熟な点が多々ありますが、会員増強委員や小委員会、地区チームの皆様を支えられて、良い委員会活動が出来ています。各クラブからお呼び頂く「卓話」、地区研修・協議会での会員基盤分科会、年二回のラーニングセミナーも板について参りました。その結果、目標には達していませんが、2630地区も会員が少しずつ増加傾向にあります。日本の地区5番目に入るのも時間の問題です。「入れて学び、学んで高め合う」これを繰り返し、ロータリアンとして質の高い2630地区にしていきたいと考えます。

これから、どう増強していくか？。それは「境界のない会員構成」です。エクスクルーシブ(排他的・閉鎖的)をインクルーシブ(誰も排除しない)に変化していく事です。会員も多様化し、会員の生活スタイルも多様化します。そうになると、コストも時間も効率化(コスパ改善)する必要があります。

例えば、Web会員(家で・出張先で)・Eat less会員

(食わずに会費を軽減)・Night・Noon会員(夜例会・昼例会への自由参加)・Passport会員(所属クラブを持たず、各地のクラブ例会・活動に参加)・法人・家族会員(3名まで)・ヤング(40以下)・シニア会員(80以上)の会費を軽減・Vocation less会員・ニート会員(問題あり?)とか?・・・。

参加スタイルを多様化し、「時間」と「会費」を軽減できる。といった、抜本的な改革を各クラブに提案していきたいと考えます。当然、反発は出るでしょう。しかし、今動かないと20年後には2630地区の会員が1,000人を切ることは間違いありません。

最後に「入れて学び、学んで高め合う」これを繰り返し、ロータリアンの質を高めていきましょう。【会員を入れること】そして、【ラーニング(学び)＝成長】は両輪となって初めて【増強】となるのです。

誰が変えるのですか?、ガバナーですか?、増強委員長ですか?・・・。違います、ロータリープライドを持った「あなた」です。

いつ変えるのですか?、来年ですか?、再来年ですか?・・・。違います、「今」でしょう。



活動報告

中津川センターRC 創立50周年記念式典

中津川センター RC 会長 小木曾 輝栄

亀井ガバナーをはじめとする地区役員の皆様、近隣ロータリークラブの皆様、衆議院議員古屋圭司様、中津川市長小栗仁志様をはじめ多くのご来賓の皆様にご臨席賜り令和7年3月8日(土)に中津川市のパルティールプラスにて中津川センターロータリークラブ創立50周年記念式典・祝賀会を挙行政致しました。

また、姉妹クラブである台湾新莊ロータリークラブ吳佳鴻会長をはじめ会員及び御家族総勢10名の方がお祝いに駆けつけてくれました。式典では姉妹提携継続調印式を行い変わらぬ友情と絆を確かめ合いました。

祝賀会のオープニングでは東濃歌舞伎中津川保存会の地歌舞伎で始まり、ご臨席頂いた皆様とこの素晴らしい時間を共に過ごしました。

周年記念事業では、元プロ野球選手の松田宣浩氏をお招きし記念講演と野球教室を開催し、45周年からの継続事業の桜の植樹、間伐材を利用したベンチを作成し市内各所に設置を致しました。

結びにご出席頂きました皆様、記念事業に関係頂きました全ての皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



松田 宣浩氏 少年野球教室





津RC創立75周年記念式典・祝賀会

津 RC 会長 志田 行弘

2025年3月15日（土）、津ロータリークラブ創立75周年記念式典・祝賀会がホテル津センターパレスにて開催されました。

名誉会員である一見勝之三重県知事、前葉泰幸津市長をはじめ、亀井喜久雄ガバナー、スポンサークラブである東京RCの青山幸恭副会長、台北南區RC会員、近隣・親子関係の9RCの会長・幹事、元R財団奨学生、元米山記念奨学生、津RC会員・家族計約120名が出席しました。

創立記念事業として、1月15日に津お城前公園へ津藩主藤堂高虎公ゆかりの藤の木と藤棚を寄贈。式典では、その模様や藤堂家の歴史、津RCの思いを映像で紹介しました。祝賀会は、当クラブが支援した元R財団奨学生でピアニストの兼重稔宏さんによるコンサートで華やかに幕を開け、よさこいサークル「天狗う」の迫力あるステージで大いに盛り上がりました。

次なる節目である創立100周年に向け、歴史と伝統を受け継ぎながら、職業奉仕と社会貢献の歩みをさらに進めてまいります。



志摩RC創立35周年記念式典

志摩 RC 会長 西尾 亮

2025年3月15日に賢島宝生苑にて創立35周年記念式典を開催しました。

ご来賓として橋爪志摩市長、亀井ガバナーをはじめ地区役員の皆様、友好クラブの郡上長良川RC・小倉中央RC、近隣RC、関係者の方々にご臨席賜りました。

会長挨拶、ご来賓祝辞の後、記念事業の報告を行いました。

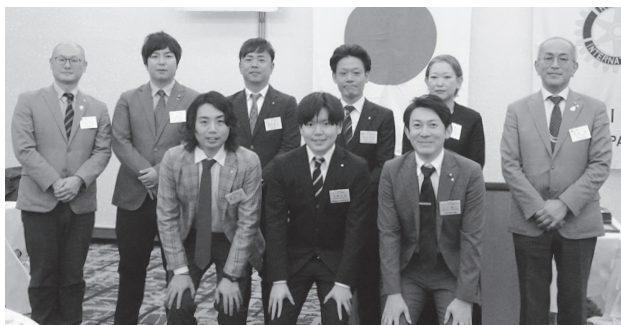
記念事業は、まず11月に、志摩市制20周年記念市民企画イベント・新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる「秋のコンサート」を開催、地元文岡中学校全校生徒への公演、地域一般市民への公演と二部構成で美しい音色を楽しんでいただきました。

また12月には、会員増強の一環でもあり、若い世代との融合を目的として、志摩ホープロータリー衛星クラブを設立、9名の新会員に入会していただきました。最年少は現役大学生でもあり、これからが楽しみでもあります。

そして3月には、大阪桐蔭高等学校吹奏楽部による「特別公演in志摩」を開催、約1200人の方々に感動を届けることができました。

記念事業報告後の祝賀会では、35年連続100%出席表彰、会員のバンドによる演奏などで大いに盛り上がりました。

35年間、歴代会長のリーダーシップで奉仕の理想を追い求め、先輩から後輩へと奉仕の精神が引き継がれてきた集大成を発表できた創立35周年の記念式典でした。





可児RC 創立50周年記念式典

可児 RC 会長 亀井 和彦

50周年テーマ [learning from the past] 温故知新

皆さまのおかげで、可児ロータリークラブも50歳を迎えることが出来ました。

(ロータリーの歴史)

さて、ロータリーは120年前、ポール・ハリスという青年弁護士がアメリカ シカゴで3名の仲間と共に作りました。この当時のアメリカ シカゴは、経済が急速に発展する傍らで、悪質な詐欺師の職業が蔓延しておりました。それを危惧したポール・ハリスがロータリーを作り、職業倫理を正そうとしたのです。その動きが、今では200以上の国々に広がり、36,508クラブ、1,134,303名のロータリアン、同志がいます。

(50年前の日本)

50年前の日本は、どんな世の中だったのでしょうか？

今では日曜日夕方には誰もが家族で見る「サザエさん」。この「サザエさん」がスタートした年であります。また、今でも続いている、「戦隊シリーズ」の走りである「秘密戦隊ゴレンジャー」がスタートしました。私も子どもの頃、夢中になって見た覚えがあります。当時、戦後30年を迎え、高度経済成長も進み、日本人の生活と心が豊かになり始めた頃だと思えます。

(可児ロータリークラブ誕生)

そんな時、可児の地で活躍する経営者が集まり、可児ロータリークラブが出来ました。可児ロータリークラブは50年に渡り、この可児の地で様々な奉仕活動を行ってきました。ロータリーの五大奉仕に基づいた奉仕活動であります。

(可児ロータリークラブの五大奉仕)

一つ目、会員の成長をサポートする「クラブ奉仕」は家族例会や親睦旅行など、会員同士の親睦で磨かれてきました。

二つ目、「社会奉仕」は、町のための様々な寄贈や環境保全を行ってきました。

三つ目、「国際奉仕」は、可児市在住の外国の方との文化交流や支援をしております。

四つ目、「青少年奉仕」は、キャリア教育や図書などの寄贈を行ってきました。現在(いま)では、可児市子育て支援センター(マーノ)と御嵩町中山道みたけ館に「ロータリー文庫」を立ち上げさせていただきました。子ども達が想像力・知識・集中力など、「生きる力」を読書で養って欲しいと思います。また、キャリア教育が出前講座に発展し、本日ご紹介いたします、「つきせぬ」というNPO法人立ち上げにも繋がりました。

様々な青少年奉仕活動が現代版に進化し、子ども達がすすくと夢を描いて、夢に向かって成長する姿を見て、私たちロータリアンもやりがいを感じています。

最後の五つ目、「職業奉仕」はロータリーの真髄であります。「社会奉仕」、「国際奉仕」、「青少年奉仕」を行っている団体は、ロータリー以外にも沢山ありますが、「職業奉仕」という概念を持っている団体はロータリーだけです。

「職業奉仕」は、「入って学び、出でて奉仕せよ」と昔から云われてきました。

例会で「親睦」、「高潔性」、「多様性」、「奉仕」、「リーダーシップ」を学び、職業人として大きく成長します。そして、私たちの職業専門知識で社会の問題を解決する、良いサービスと知恵を提供する。これが私たちロータリアンが譲ることのできない「職業奉仕」です。

(最後に)

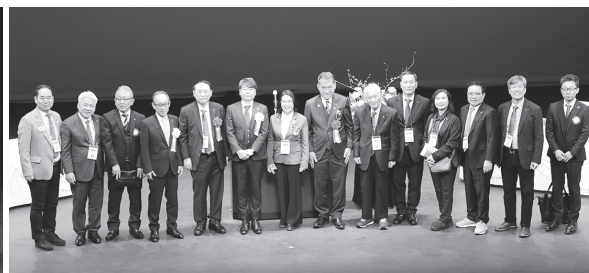
これらの伝達が今回の50周年テーマ「Learning from the Past」温故知新であります。

これから社会も経済もロータリーも大きく変わります。ひとの考え方も変わり、多様性が求められます。

これからロータリーは更に進化し、地域から求められる奉仕に特化していく必要があります。そのため、先人から受け継いだ経験と知恵、様々なネットワークを武器に可児ロータリークラブは次へのスタートを(今)切ります。

最後に「変えるべきもの、変えずに残していくもの」をしっかりと吟味して、今まで培ったロータリーの大切なもの・使命、つまり「ロータリープライド」を持って、可児の素晴らしいメンバーと共に地域から求められるクラブを創造します。

今後ともご支援とご鞭撻を宜しくお願いいたします。





国際ロータリー第2630地区 会員数報告

2025年3月分

グル ー プ	ク ラ ブ	例会数	会 員 数					
			期首	うち 女性	月末	うち 女性	増	減
桑 員	桑 名	4	35	1	37	0	3	1
	桑 名 西	3	28	1	31	2	4	1
	桑 名 中 央	3	26	3	29	3	3	0
	桑 名 北	3	28	6	31	7	3	0
	グループ計(4)		117	11	128	12	13	2
四 日 市	四 日 市	4	87	3	89	3	8	6
	四 日 市 北	3	19	4	21	4	2	0
	四 日 市 西	3	73	5	75	6	3	1
	四 日 市 南	3	31	4	27	4	0	4
	四 日 市 東	4	31	0	34	0	4	1
	グループ計(5)		241	16	246	17	17	12
鈴 鹿 ・ 亀 山	鈴 鹿	4	72	8	69	8	0	3
	鈴 鹿 西	3	26	5	27	5	1	0
	鈴 鹿 ベ イ	3	11	0	12	0	1	0
	亀 山	5	10	0	11	1	1	0
	鈴 鹿 シ テ ィ	4	70	4	69	3	1	2
	グループ計(5)		189	17	188	17	4	5
中 勢 ・ 伊 賀	津	4	61	1	66	2	8	3
	上 野	4	37	5	38	5	2	1
	名 張	4	39	2	43	2	4	0
	津 南	3	44	2	47	2	3	0
	津 北	3	53	4	54	4	1	0
	上 野 東	4	35	2	37	3	2	0
	久 居	3	29	4	29	4	0	0
	名 張 中 央	4	20	2	22	2	3	1
	グループ計(8)		318	22	336	24	23	5
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	4	74	0	73	0	2	3
	松 阪 東	5	71	13	72	14	3	2
	熊 野	2	36	5	34	5	0	2
	尾 鷲	3	11	2	12	2	1	0
	松 阪 山 桜	3	37	3	35	3	0	2
	グループ計(5)		229	23	226	24	6	9
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	3	49	0	50	0	3	2
	鳥 羽	3	29	3	29	3	1	1
	伊 勢 南	3	36	4	38	4	3	1
	志 摩	4	40	11	44	12	11	7
	伊 勢 中 央	4	48	0	48	0	1	1
	伊 勢 度 会	3	18	5	16	6	0	2
	グループ計(6)		220	23	225	25	19	14
三重合計(33)			1,314	112	1,349	119	82	47

みえぎふEテラス	会員数 11	うち女性 5
----------	--------	--------

2024年3月(前年度)会員数報告						
	期首	女性	月末	女性	増	減
三重県合計(33)	1,292	107	1,339	114	99	52
岐阜県合計(40)	1,714	77	1,778	94	122	58
地 区 合 計(73)	3,006	184	3,117	208	221	110

グル ー プ	ク ラ ブ	例会数	会 員 数					
			期首	うち 女性	月末	うち 女性	増	減
岐 阜 A	岐 阜	4	74	1	83	1	11	2
	岐 阜 西	3	41	0	41	0	2	2
	岐阜長良川	4	40	0	38	0	0	2
	岐 阜 北	3	31	4	30	4	0	1
	岐 阜 中	3	23	1	23	1	1	1
	グループ計(5)		209	6	215	6	14	8
岐 阜 B	岐 阜 南	3	86	10	87	11	7	6
	岐 阜 東	3	39	2	42	2	5	2
	岐阜東南	4	33	2	29	2	2	6
	岐阜加納	3	87	2	81	2	0	6
	岐阜エトス	3	14	2	14	3	2	2
	岐 阜 城	4	20	0	19	1	1	2
	グループ計(6)		279	18	272	21	17	24
岐 阜 西 濃	大 垣	3	90	3	92	3	6	4
	大 垣 西	4	86	1	83	1	0	3
	本 巢	3	23	1	23	1	1	1
	羽 島	4	34	2	35	2	1	0
	不 破	3	22	0	22	1	1	1
	大 垣 中	3	57	3	64	3	7	0
	大垣センチュリー	4	52	4	53	4	3	2
	岐阜淡墨	2	16	1	16	2	1	1
	岐阜サンリバー	4	17	4	17	4	0	0
	グループ計(9)		397	19	405	21	20	12
岐 阜 東 濃	多 治 見	3	55	4	58	4	6	3
	中 津 川	2	70	4	73	4	5	2
	瑞 浪	3	60	1	60	1	0	0
	恵 那	3	49	4	54	4	6	1
	土 岐	4	36	2	39	3	3	0
	多 治 見 西	4	31	3	36	2	5	0
	中津川センター	3	57	2	60	2	4	1
	多治見リバーサイド	3	58	4	57	4	1	2
	グループ計(8)		416	24	437	24	30	9
東 海 北 陸 道	美 濃	3	20	0	20	0	2	2
	各 務 原	2	37	4	40	5	4	1
	関	3	42	2	42	2	0	0
	郡上八幡	3	35	2	37	2	2	0
	関 中 央	2	28	0	30	0	4	2
	郡上長良川	4	30	6	31	6	2	1
	グループ計(6)		192	14	200	15	14	6
濃 飛	高 山	3	35	0	34	0	1	2
	下 呂	3	32	3	33	3	2	1
	高 山 西	3	36	2	38	2	3	1
	美 濃 加 茂	4	40	6	41	6	1	0
	可 児	3	40	1	42	1	2	0
	高 山 中 央	3	55	2	52	2	1	4
	グループ計(6)		238	14	240	14	10	8
岐阜合計(40)			1,731	95	1,769	101	105	67
地区合計(74)			3,045	207	3,118	220	187	114



会員動静報告

2025年3月分(敬称略)

新入会員

土岐RC



日比野 美奈
2025.03.03入会
水道工事

郡上長良川RC



山越 俊英
2025.03.05入会
建設業

桑名RC



太田 靖人
2025.03.03入会
建設資材卸売業

桑名中央RC



杉木 康太
2025.03.07入会
総合建設業

桑名中央RC



野口 真人
2025.03.07入会
耐震管更生工事

新入会員

桑名北RC



阿部 芳紀
2025.03.05入会
障害福祉サービス

四日市東RC



舘 直人
2025.03.03入会
団体職員 顧問

四日市東RC



小林 大介
2025.03.03入会
建設業

四日市東RC



明石 涼
2025.03.03入会
設備配管工

津RC



塩川 隆治
2025.03.05入会
警備

新入会員

名張RC



岩見 諭
2025.03.31入会
窯業

名張RC



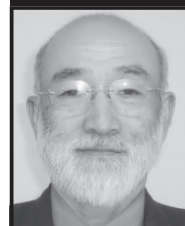
富永 憲秀
2025.03.31入会
米販売

大垣RC



稲川 俊文
1970.08.26入会
2025.03.06逝去

多治見リバーサイドRC



荒木 康夫
2002.01.08入会
2025.03.25逝去

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます



2024-2025年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

地区事務所

〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3-5-16
TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail: branch@rid2630.org

執務時間 9:30~17:30
(土・日・祝日 休務)

ガバナー事務所

〒518-0729 名張市南町822-2 名張産業振興センター 4F
TEL 0595-41-2168 FAX 0595-41-2169 E-mail: 2425@rid2630.org

執務時間 10:00~16:00
(火・土・日・祝日 休務)